

答辞

春霞の漂う季節となりました。本日は、ご来賓並びに教職員の方々をはじめ、皆様のご臨席を賜り、学位授与式を開催していただきましたことを心より御礼申し上げます。今日この佳き日に、卒業式を迎えることができ、大変嬉しく存じます。

振り返ると、私たちの大学生生活は、新型コロナウイルスの影響により、入学式の延期、そして全てオンラインにより始まったことが思い出されます。右も左もわからず、またコロナ禍という大変不安なスタートとなりました。しかしながら、教職員の皆様のおかげで、学びを止めることなく、様々な知見を得ることができました。先生方のハイレベルで、濃密な授業はとても興味深く、引き込まれる一方、山の様に積み重なる課題、実験レポートを通じ、応用化学科の忙しさ、レベルの高さに圧倒されました。そのような多忙な大学生活を乗り越えたことは自信と誇りに感じます。

多角的に化学を学ぶとともに、自らの専門性を磨くべく、研究室配属を迎えました。先生、先輩方とのディスカッションや卒業論文の執筆を通じ、自ら課題を設定し、実験、結果、分析を行う研究の面白さを体感することができました。また、研究室活動を通じ、横のつながりだけでなく、先輩方との縦のつながりも築くことが出来たことは私の大学生活において貴重な宝物の一つとなりました。

4月より、私たちは新たな門出を迎えます。この応用化学科で学んだ知識と経験を今後の人生の糧とし、今まで支えてくださった周囲の方々、そして社会への貢献に努める所存です。

最後となりましたが、熱心にご指導、ご鞭撻を賜りました先生方、職員の皆様、頼もしく研究室を先導して下さった先輩方、多忙な四年間を共に支え、乗り越えた友人、そして温かく、大学生活を見守ってくれた家族に心より御礼申し上げます。また、この度ご退任されます平沢先生のもとで、研究活動を行うことができたことを心より誇りに思い、重ねて御礼申し上げます。

皆様のご健勝、ご活躍と、応用化学科のさらなるご発展をお祈りし、答辞とさせていただきます。

二〇二三年三月二十六日

早稲田大学先進理工学部応用化学科卒業生

代表